



ネイチャーセンターだより

2018年9.10月号

新・いきもの図鑑



アッケシソウ（アカザ科）

まんちようじ 満潮時に植物全体が海水に浸る塩性湿地に
せいそく 生息します。名前は今から約130年前に厚
かきま 岸町の牡蠣島で発見されたことに由来しま
す。その後、あぼしりし 網走市で秋の深紅色に染まる
さんご 様子が珊瑚を思わせることから、サンゴソ
ウという別名がついたそうです。草丈は
10-30cm程度、花は咲きますが小さいた
め、夏の間はほとんど目立たちません。早
いものは8月上旬ころから、少しずつ茎が
こうよう 紅葉し始めます。昨年は10月中旬が紅葉の
くま 見ごろでした。1年草なので種子は波の間
ただよ ぐんらく に漂い、毎年群落の位置が変わり、紅葉の
美しさにも差があります。

【参考文献】北日本の野草(1994)、オホーツクの植物(1983)、
北海道庁都市環境課 HP: <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/tnk/hana/flower/hs001.html>

9.10月の見どころ予報

【9月】

ふうれんこ 風蓮湖に夏の間100羽以上いたアオサギが、
冬を過ごす本州へ少しずつ移動し、それに変わ
るかのように、下旬にオナガガモやヒドリ
ガモなどのカモ類がわたってきます。



ほかのカモに比べて、陸地の上
がって、植物の実などを食べる
ことが多い。
↓ヒドリガモのオス

↑オナガガモのオス
逆立ちしたりして、アマモなど
の水草を採食する。

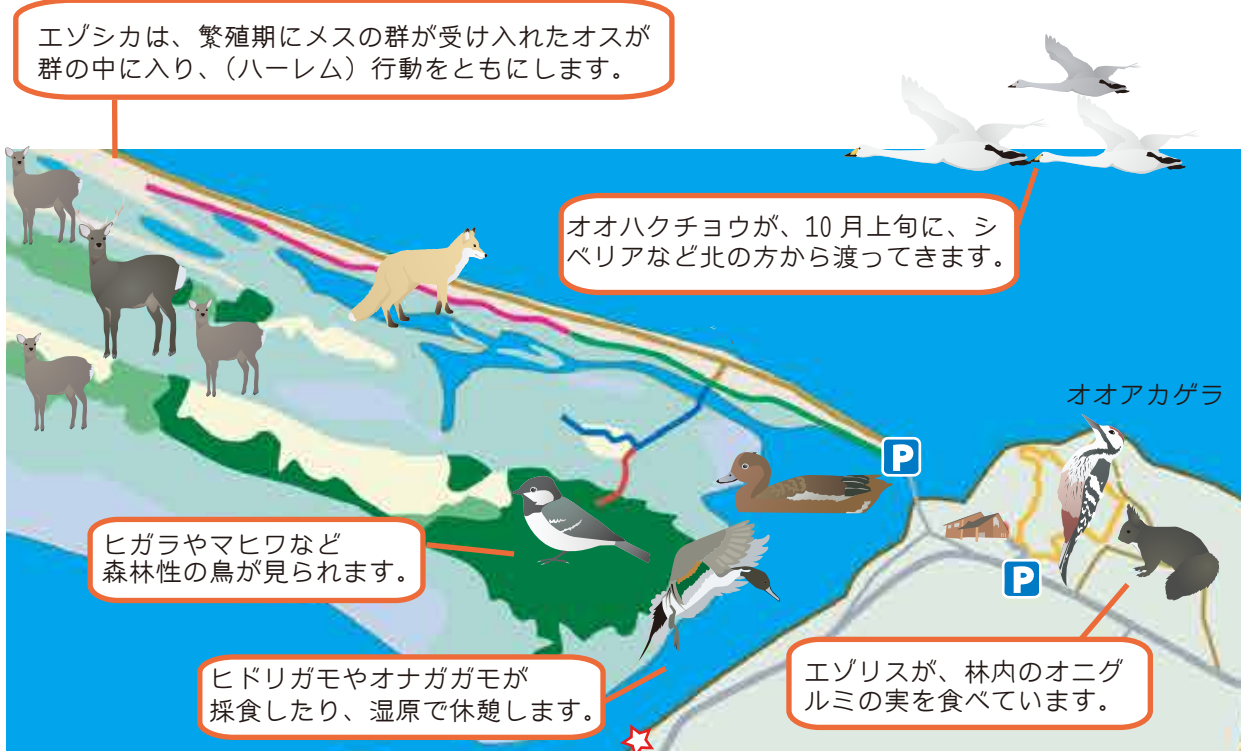


ツタウルシ

【10月】

しゅんくにたい ふうれんこがん
春国岱の風蓮湖岸ではアッケシソウが、林内
ではハリギリやツタウルシの葉が、色づき秋
が深まります。風蓮湖には、オオハクチョウ
の第一陣が、はんしよくき 繁殖期を過ぎたカムチャツカ
半島など北の方から渡ってきます。オオハク
チョウの渡りのピークは、11月中下旬頃です。
エゾシカの繁殖期を迎え、オスが「ギューン」
と独特な声を上げて自分の存在をメスやほか
のオスにアピールします。

見どころMAP



- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

トピックス

カラシラサギ、13年ぶりに春国岱に飛来

8月6日～10日に、春国岱でカラシラサギが計4回確認されました。

最初に確認をしたのは、バードウォッチングのために根室を訪れていたオランダの方と苦小牧市にあるウトナイ湖サンクチュアリの日本野鳥の会のレンジャーでした。

春国岱では、春国岱湾内（風蓮湖）の消波ブロックの上で、ウミネコの群と一緒に休憩したり、浅瀬や中谷地で食べものを探す姿が確認できました。警戒心がとても強く、少し近づいただけで逃げてしまいましたが、今回記録写真が撮れました。（撮影：古南幸弘レンジャー）なお本種は、根室半島では1970年代に2回、80年代は各所で確認、90年代は3回、2000年代は1回記録されています。出典：根室地方の野鳥（1981）、根室市鳥類生息調査報告書（2005）



カラシラサギ【漢字名：唐白鷺】

全長65-68cm。全身が白色、くちばしが黄色で足は黒色。足の指は黄色。後頭部に20本くらいの羽毛が束となった房状の飾り羽がある。コサギ（全長55-65cm）に似ているが、コサギのくちばしは黒いので区別できる。
繁殖地はロシア沿海地方や朝鮮半島、中国東部で、日本の沖縄地方～フィリピンで越冬する。日本では、渡りの季節にほぼ全国で記録があるが、繁殖地での総数は、2,600～3,400羽と推定されており、準絶滅危惧種に指定されている希少なサギ。

手前はウミネコの幼鳥（全長45cm）



参考資料：レッドデータブック2014

ヒグマ 5年ぶりに春国岱で確認

8月14日に白鳥台（道の駅スワン44）から対岸の春国岱へ風蓮湖を泳いで渡るヒグマが確認され、21日には、春国岱の駐車場で足あとが見つかりました。ほとんどのヒグマは、冬至の頃（12月22日）には冬眠に入りますが、冬眠中も巣穴から出て林内を歩き回ることもあります。

ヒグマに出会わないために、次のことに注意してください。

1. ヒグマの生息地の森林や沢に入るときは、歩きながら音をたてましょう

鈴や笛やラジオなどで音を鳴らしたり、手をたたいたりしましょう。

ヒグマが人の存在に気づくと、たいていはヒグマの方から、さけてくれます。

2. 薄暗くなってからの行動はやめましょう

あたりが見えにくいので危険です。

3. ヒグマの足あとやフンを見つけたら、すぐに引き返しましょう

4. ゴミはすべて持ち帰りましょう

ヒグマはするどい嗅覚を持っています。人が捨てた食べ物のにおいに寄ってこないように、ゴミは絶対に捨てないでください。野生動物に食べ物を与えるのは、言語道断です。

5. 遠くにヒグマを見つけたら、様子を見て行動しましょう

ヒグマが人に気づいていなければ、そっとその場を立ち去りましょう。

走るのは危険です。ヒグマは見かけによらず俊足で、100mを7秒ちょっとで走れます。

（陸上の100m競争の世界記録保持者ウサイン・ボルト選手の100mのタイムは9.58秒）

* 利用中止の散策路はありません（9/10現在）最新情報は <https://www.facebook.com/shunkunitai/>
* 根室市農林課のホームページでは、随時ヒグマの目撃情報を更新しています。

合わせてご確認ください <http://www.city.nemuro.hokkaido.jp/lifeinfo/kakuka/suisankeizaibu/nourin/oshirase/4218.html>

参考資料：「ヒグマを知ろう」（北海道環境生活部環境室自然環境課）※センターで冊子を配布しています

「野生動物学調査痕跡学図鑑（2009）」

しゅんくにたい 春国岱クイズ

秋になると、風蓮湖には数千羽のカモが渡ってきます。

写真のように、カモが水面で逆立ちしていることがありますが、いったい何をしているのでしょうか。



1. 顔を洗っている
2. 仲間とけんかしてしまい、頭を冷やしている
3. 食べ物を探している

イベント情報！

お問合せ・お申込みはネイチャーセンターへ

お申込み方法は直接・電話・メールでお願いします（連絡先は下記に）

お申込み時は参加者全員のお名前、ご連絡先、小・中・高生は学年をお知らせください



春国岱ハイキング 秋編

10月7日（日）

9：30-15：00

*雨天等中止

*天候状況により時間を短縮します

春国岱の海岸沿いの草原を歩きながら、アッケシソウの草紅葉や、カモなどの渡り鳥、エゾシカの群を観察しながら往復約6km歩きます。

対象／小学5年生～大人（小学生は保護者同伴のこと）、6km歩きとおせる方、定員／20名（先着）

集合・解散／春国岱駐車場

持ち物／長靴・防寒具上下・手袋・帽子・タオル・飲み物・お弁当・ひとくちおやつ・筆記用具・お持ちのかたは双眼鏡（貸出しあります）

保険代／100円 受付～10/5（金）

春国岱ボランティア ゆるふわ体験

10月30日（火）

9：30-12：00

*雨天時は室内プログラム

ボランティアグループ「スルク」のメンバーとともに、ネイチャーセンター周辺の林の冬じたくをします。

★エゾモモンガの寝床用に巣箱をかける

★小鳥たちの採食場をつくる

対象／18歳以上（未就学児は同伴してください） 定員／10名（先着）

集合／春国岱駐車場

持ち物／野外で活動できる服装・長靴・帽子・作業用手袋

保険はこちらで加入します 受付～10/28（日）

フィールドマナーを守って

自然と他の利用者にご配慮ください

1. 観察路から外れないようにしてください
2. 動植物の採取や捕獲はしないでください
3. ゴミはお持ち帰りください
4. 所定の場所以外での喫煙はできません
5. 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
6. キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください。



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp 最新情報はFBをご覧ください

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆休館日：9月5・12・18・19・25・26日（開館9：00-17：00）

10月3・9・10・17・24・31日（10月以降9：00-16：30）

11月5・7・14・21・26・28日

◆団体でご利用の方へ（要事前申込）

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

クイズのこたえ 3. カモのなかまには、水中に潜るカモと潜らないカモがいます。逆立ちをしているのは、水底に生えている水草を食べている潜らないカモの仲間です。風蓮湖には、カモやおオオクチョウが好物の「アマモ」が豊富にあるので、数千羽の水鳥が飛来するのですね。

【参考資料：これがカモ！（2001）、BIRDER（2011.11）】



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録